

平成21年度環境技術実証事業検討会

小規模事業場向け有機性排水処理技術

ワーキンググループ会合(第2回)

議事要旨(案)

1. 日時：平成22年3月12日10:00～12:00
 2. 場所：法曹会館 富士の間
 3. 議題
 - (1) 実証試験結果報告書の検討について
 - (2) 実証試験要領の見直しについて
 - (3) その他
 4. 出席検討員：藤田正憲（座長）、岡田光正、徐開欽、中井尚、名取眞、宮腰智裕
事務局：環境省、財団法人日本環境衛生センター
 5. 配布資料
 - 資料1 平成21年度環境技術実証事業検討会小規模事業場向け有機性排水処理技術ワーキンググループ会合（第1回）議事概要（案）
 - 資料2 平成21年度環境技術実証事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野のこれまでの経緯について
 - 資料3 平成21年度環境技術実証事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野実証試験結果報告書（案）（委員限り）
 - 3-1 厨房排水処理装置“ECOTRIM” / OPPC株式会社（(社)埼玉県環境検査研究協会）
 - 3-2 業務用厨房シンク型 油水分離回収機“グリス・ECO DS-2” / 株式会社大都技研（(社)埼玉県環境検査研究協会）
 - 資料4 拡大ワーキンググループの実施報告
 - 資料5 小規模事業場向け有機性排水処理技術実証試験要領の見直しについて（案）
 - 資料6 今後のスケジュール（案）
- 参考資料1 小規模事業場向け有機性排水処理技術実証試験要領（第2版）

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 実証試験結果報告書の検討について

事務局から資料2に基づき、大阪府の実証対象技術について承認を取り下げたことを説明。また、実証機関（財団法人埼玉県環境検査研究協会）から資料3-1、3-2に基づき、実証試験結果について説明

- ・ 厨房排水処理装置“ECOTRIM”については、グリーストラップにおける後置きのオゾンを用いた可溶化装置として、現在ある多数の試験結果データを活用してまとめることが指摘された。
- ・ “グリス・ECO DS-2”については、条件（排水の種類、排出形態等）の異なる実証試験場所での試験をしており、結果についても明確であるとの意見があった。概要版のフロー図については、装置について正確に理解されるように修正するよう、指摘された。

(2) 実証試験要領の見直しについて

事務局から資料4、5に基づき、実証試験要領の見直し（案）について説明。

- ・ 試験期間、定期試験等の短縮、省略については、実証対象技術により実証試験の最適な方法は異なるため、技術実証委員会において、それぞれの技術にあった期間を選択することが望ましい、とされた。
- ・ 検査方法、試験方法の変更についても、実証対象技術により実証試験の最適な方法は異なるため、技術実証委員会において、それぞれの技術にあった方法を選択することが望ましい、とされた。
- ・ 既存データを利用した実証については、ユーザーと技術開発者が連携をとって得られた試験結果などは双方（ユーザー、技術開発者）にメリットがあるとの意見があった。その上で、他分野との協調も考慮しながら、本分野としては既存データの活用について前向きに検討していくことが確認された。
- ・ 試験結果報告書への実証試験場所所有者によるインタビュー、専門家によるアドバイス、考察等の記載については、現在の実証試験結果報告書においても、実証試験結果から導かれるアドバイスについては報告書に記載されている例があるため、現要領において対応できていることが確認された。

(3) その他

事務局から資料6に基づき、今後のスケジュールについて説明。

- ・ 今後、実証試験結果報告書については、修正を行い、環境省からの承認を得て、次年度4月以降に公表されることが確認された。
- ・ 今回の会合については公開であり、議事についてはホームページに公開することが了承された。

(文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)